



所長コメント

私のかかわっている安芸農協の創立40周年のイベントが11月1日坂町のグラウンドで行われました。当日は事前の天気予報では雨となって、関係者をやきもきさせたようですが、幸い雨の神様は夜まで待ってくれました。各婦人部のおば様方による出店や野菜の即売会、さらには農機具や住宅設備、果ては仏壇等を販売する関連業者が数多く出店していました。

左の写真は、どうです「団子三兄弟」ならぬ「焼き鳥三姉妹」でしょうか？真剣なまなざしと素敵な笑顔、真っ白な割烹着がよく似合っていますね。

右の写真は餅蒔きです。たまたま役員の端くれとして壇上に上がった時に撮ったものです。餅を拾ったことはあっても、蒔いたのは初体験。天から福を呼ぶ紅白の餅が降ってくる。すべての人に幸せが降ってくるといいですね。

早いものでもう11月、皆様にとって今年2015年はどんな年になりそうですか？

社長の仕事 税理士 大場史郎

旭化成建材

先月号でフォルクスワーゲンのディーゼルエンジンの不正プログラムの問題を書いたが、この問題はガソリンエンジンにもおよび、子会社のポルシェやアウディまで不正があると書かれている。今後深刻な影響をおよぼしそうだ。

国内ではマンションの杭打ち偽装が大きな問題になっている。52本の杭のうち8本が岩盤に未到達ということだ。あらかじめ支持層の岩盤までの深さはボーリング調査で測るとのことだが、岩盤はフラットとは限らない。用意した杭が短いと再発注しなければならない、そうするとその間工事が止まり、工期が遅れる。

8本の杭が岩盤に未到達ということは末端の杭打ち業者しか知らないことなのだろうか？

そうはいつでも、元請の三井住友建設に全面的に責任があるのは明らかである。

消費者は大手ゼネコンが施工しているから、安心して購入する。それがブランドである。

元請の三井住友建設→日立ハイテクノロジー→旭化成建材→杭打ち業者

日本の建設業界の多重下請け構造に無理があるのではないか。

これは氷山の一角だという声もある。メイドインジャーマニー、メイドインジャパン 実直、堅実、安心、安全のブランドがほころびそうである。

戦後のメイドインジャパンは安かろう、すぐに壊れるというレッテルが貼られていたが、先人達が必死で信頼のブランドを築いてきた。ブランドを壊すのはわけないことである。